



**当日最大  
133cm!!**  
12月13日

★当日最大は133センチのドラゴン級



●強い引きにはドラクを効かせてヤリトリしよう



▲当日は走水沖を中心に猿島沖や大津沖などを狙った



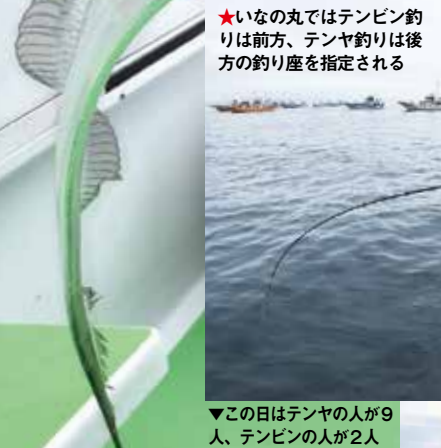
★東京湾のタチウオは秋になっても好調をキープしている



▼東京湾のタチウオを求めて群馬県から足を運ぶ方も



▲テンビン釣りでも平均サイズはいい  
◀危険防止のため竿を置きリーダーをつかんで抜き上げよう  
▼テンビン仕掛けは食わせの間をしっかりと取ることが大事



★いな丸ではテンビン釣りは前方、テンヤ釣りは後方の釣り座を指定される



▼この日はテンヤの人が9人、テンビンの人が2人

三浦半島京急大津出船



▲駐車場からのアクセスもよい乗船場



▲いな丸ではショートタチウオのほか、午前タチウオや午前、午後アシ船なども出している

**釣り方はお好みで**

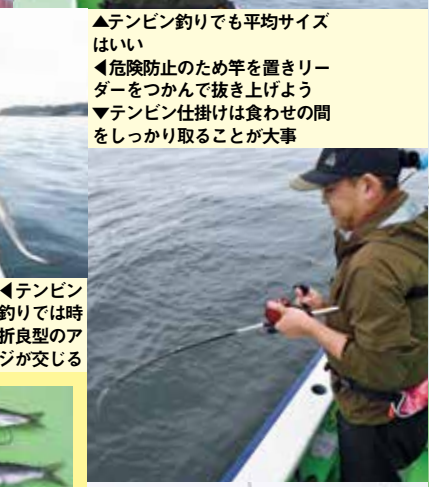
★いな丸ではテンビン釣りのオモリはPE1号は40～60号、2号は60～80号、3号は80～100号の指定。テンビン、テンヤとも途中で釣り方の変更はできないルールだ。

▲テンヤは40～50号を使用する。テンヤ釣りはPE 2号以下厳守

▼エサのイワシは10匹入り500円で店頭で販売している

◀仕掛けはハリス6～8号2メートル前後。良型が多いのでハリスは2/0のほか3/0も用意しておきたい

▶テンビン釣りのエサはコノシロの切り身が配られる



▲テンビン釣りでは時折良型のアジが交じる



▲平均サイズは指幅5本以上  
▼タナは海面下45～55メートル前後

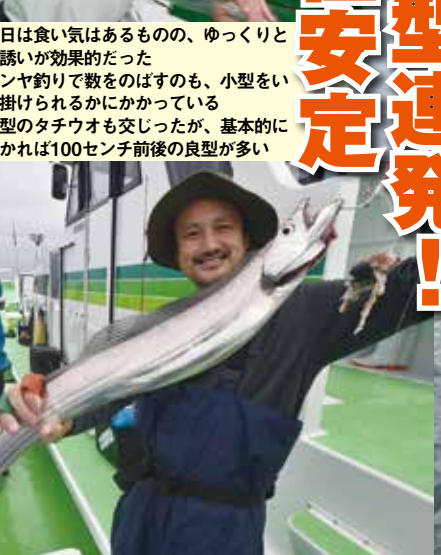


▲当日は食い気はあるものの、ゆっくりとした誘いが効果的だった  
◀テンヤ釣りで数をのばすのも、小型をいかに掛けられるかにかかっている  
▼小型のタチウオも交じたが、基本的には掛ければ100センチ前後の良型が多い

秋もすっかり深くなってきたが、東京湾のタチウオは相変わらず好調だ。三浦半島京急大津のいな丸を取材した10月下旬は猿島く走水沖の水深60メートル前後を狙い、最大133センチを含みテンヤがトップ20本、テンビンがトップ15本とまずまずの釣果に恵まれた。釣法による数の差はないが、良型のヒット率はテンヤのほうが若干高い傾向にはある。

もちろんテンビンでも良型のヒットは珍しくないの、強い引きには慎重にヤリトリしたい。

(詳細は56ページ参照)



撮影●本誌編集部



◎朝一の流しから良型のタチウオが次々と上がっており、本誌発売時にも十分楽しめそう

●三浦半島京急大津・いな丸 野地吉友船長